



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月2日

上場会社名 フジ日本精糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江口 達夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 福田 弘 (TEL)03-3667-7811
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	14,738	△0.4	1,401	1.5	1,523	2.3	973	59.1
22年3月期第3四半期	14,796	19.9	1,380	57.5	1,489	54.5	611	61.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	36 69	—
22年3月期第3四半期	22 87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	18,989	12,410	65.4	463 39
22年3月期	17,937	11,710	65.3	442 52

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 12,410百万円 22年3月期 11,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0 00	—	10 00	10 00
23年3月期	—	0 00	—		
23年3月期(予想)				12 00	12 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有

期末配当 12円00銭(普通配当 10円00銭 記念配当 2円00銭)

詳細は、本日公表いたしました「平成23年3月期配当予想の修正(合併10周年記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	2.6	1,600	3.9	1,700	3.6	1,100	44.2	41 47

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4 「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 ()、除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期3Q	29,748,200株	22年3月期	29,748,200株
② 期末自己株式数	2,966,727株	22年3月期	3,283,924株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26,526,167株	22年3月期3Q	26,747,737株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
【第3四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、年度前半は新興国を中心とした外需により、企業業績や設備投資の改善傾向が見られたものの、後半は回復のスピードが鈍化し、円高の進行や雇用不安、消費低迷等、先行きの不透明感から、依然として厳しい状況となりました。

このような環境下、当社グループは、引き続き食品会社として相応しい工場創りに努力し、安心・安全な製品の安定供給を最重要課題として取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高14,738百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益1,401百万円（同1.5%増）、経常利益1,523百万円（同2.3%増）となり、四半期純利益については、前年同期に比べ投資有価証券評価損等の特別損失が減少したため973百万円（同59.1%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント業績は、次のとおりであります。

①精糖事業

精糖事業の業績は、売上高10,081百万円、営業利益1,493百万円となりました。売上面では、個人消費が低迷する中、家庭用小袋を中心に販売数量が前年同期を下回りましたが、液糖需要の増加や海外原糖市況の高騰等による製品価格の上昇により売上高は増加いたしました。利益面では、引き続き原料調達コストの抑制及び生産コストの削減に努めました。

②機能性素材事業

機能性素材事業の業績は、売上高4,182百万円、営業利益16百万円となりました。厳しい経済環境下、売上面では、機能性食品素材「イヌリン」については用途開発に注力し、積極的に提案型の営業を展開した結果、販売数量は前年同期を上回りました。さらに連結子会社であるユニテックフーズ(株)のOEM関連部門が好調に推移いたしました。利益面では各部門においてコスト削減に努めました。特に切花活力剤部門においてのコスト抑制等が利益改善に寄与いたしました。

③不動産事業

不動産事業の業績は、売上高474百万円、営業利益409百万円となりました。賃貸事業は、賃貸物件の一部建替工事を行ったものの、概ね順調に推移いたしました。また、開発事業は、前年同期にマンション開発分譲の売上が一部ありましたが、当第3四半期連結累計期間においては行っておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5.9%増加し、18,989百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

①資産

資産につきましては、流動資産は前連結会計年度末に比べ13.5%増加し、8,461百万円となりました。これは主に売上債権の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ0.4%増加し、10,528百万円となりました。これは主に関係会社への長期貸付金の増加等によるものであります。

②負債

負債につきましては、流動負債は前連結会計年度末に比べ16.7%増加し、4,202百万円となりました。これは主に仕入債務の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ9.5%減少し、2,376百万円となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものであります。

③純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6.0%増加し、12,410百万円となりました。これは主に四半期純利益計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ70百万円増加し、2,824百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、676百万円(前年同期比54.0%減)となりました。これは主に棚卸資産が減少から増加に転じたこと、法人税等の支払額が増加したこと等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、172百万円(前年同期比65.6%減)となりました。これは主に子会社株式の取得による支出が減少したこと、投資有価証券の売却及び償還による収入が増加したこと等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、433百万円(前年同期比5.8%減)となりました。これは主に自己株式取得による支出が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は順調に推移しておりますが、当社グループを取り巻く環境は不透明な状況が続くと思われまます。よって、前回発表(平成22年11月2日)の通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

《簡便な会計処理》

○棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当連結会計年度の第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

《会計処理基準に関する事項の変更》

1. 「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ1,324千円減少、税金等調整前四半期純利益は37,233千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は53,159千円であります。

2. 連結子会社の資産及び負債の評価に関する事項の変更

連結子会社の資産及び負債の評価方法は、従来、部分時価評価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）を適用し、全面時価評価法に変更しております。

これによる影響額はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,505,428	2,435,258
受取手形及び売掛金	1,802,433	1,604,241
有価証券	322,046	352,059
商品及び製品	1,366,017	1,316,757
仕掛品	107,452	117,830
原材料及び貯蔵品	792,374	813,761
その他	1,568,905	819,531
貸倒引当金	△3,473	△3,575
流動資産合計	8,461,184	7,455,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	725,752	693,325
機械装置及び運搬具(純額)	151,065	171,859
土地	2,048,834	2,048,834
その他(純額)	47,984	53,129
有形固定資産合計	2,973,638	2,967,149
無形固定資産		
のれん	1,036,763	1,117,754
その他	59,544	66,244
無形固定資産合計	1,096,307	1,183,999
投資その他の資産		
投資有価証券	3,930,383	4,076,088
その他	2,610,700	2,355,189
貸倒引当金	△82,904	△100,635
投資その他の資産合計	6,458,178	6,330,643
固定資産合計	10,528,124	10,481,791
資産合計	18,989,309	17,937,657

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,034,638	806,822
短期借入金	1,413,364	1,495,114
未払法人税等	182,552	471,561
賞与引当金	60,884	112,108
役員賞与引当金	10,380	13,680
その他	1,500,651	701,960
流動負債合計	4,202,470	3,601,246
固定負債		
長期借入金	1,270,090	1,449,939
退職給付引当金	460,628	529,247
役員退職慰労引当金	127,150	139,672
資産除去債務	53,560	—
持分法適用に伴う負債	16,313	64,475
その他	448,727	442,153
固定負債合計	2,376,469	2,625,487
負債合計	6,578,940	6,226,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,524,222	2,508,559
利益剰余金	8,893,105	8,184,508
自己株式	△728,788	△806,025
株主資本合計	12,213,000	11,411,503
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	202,178	304,977
繰延ヘッジ損益	△4,810	△5,557
評価・換算差額等合計	197,368	299,419
純資産合計	12,410,368	11,710,923
負債純資産合計	18,989,309	17,937,657

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	14,796,181	14,738,362
売上原価	11,042,304	10,916,384
売上総利益	3,753,876	3,821,978
販売費及び一般管理費	2,373,307	2,420,594
営業利益	1,380,569	1,401,383
営業外収益		
受取利息	38,597	36,987
受取配当金	33,942	37,282
持分法による投資利益	96,325	86,774
その他	13,505	15,922
営業外収益合計	182,371	176,966
営業外費用		
支払利息	40,155	34,949
匿名組合投資損失	27,996	17,215
その他	5,778	2,775
営業外費用合計	73,929	54,940
経常利益	1,489,010	1,523,409
特別利益		
固定資産売却益	484	—
投資有価証券売却益	141	1,530
貸倒引当金戻入額	65	—
特別利益合計	691	1,530
特別損失		
減損損失	2,473	3,527
投資有価証券評価損	81,386	—
匿名組合投資損失	249,999	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	35,908
その他	39,059	2,092
特別損失合計	372,919	41,528
税金等調整前四半期純利益	1,116,782	1,483,410
法人税、住民税及び事業税	497,549	454,694
法人税等調整額	699	55,476
法人税等合計	498,249	510,171
少数株主損益調整前四半期純利益	—	973,239
少数株主利益	6,710	—
四半期純利益	611,822	973,239

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	4,814,423	4,890,380
売上原価	3,488,964	3,604,565
売上総利益	1,325,458	1,285,814
販売費及び一般管理費	809,425	826,423
営業利益	516,033	459,391
営業外収益		
受取利息	13,095	12,374
受取配当金	11,378	11,425
持分法による投資利益	9,397	25,652
その他	3,389	4,208
営業外収益合計	37,261	53,659
営業外費用		
支払利息	12,517	10,506
匿名組合投資損失	5,037	2,356
その他	3,309	1,100
営業外費用合計	20,864	13,963
経常利益	532,430	499,087
特別利益		
投資有価証券売却益	141	—
貸倒引当金戻入額	3,976	—
特別利益合計	4,118	—
特別損失		
投資有価証券評価損	41,365	—
匿名組合投資損失	249,999	—
その他	765	—
特別損失合計	292,130	—
税金等調整前四半期純利益	244,417	499,087
法人税、住民税及び事業税	140,859	168,995
法人税等調整額	39,793	40,297
法人税等合計	180,652	209,293
少数株主損益調整前四半期純利益	—	289,793
四半期純利益	63,764	289,793

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,116,782	1,483,410
減価償却費	108,224	98,309
のれん償却額	78,275	80,991
減損損失	2,473	3,527
賞与引当金の増減額(△は減少)	△50,169	△51,224
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,450	△3,300
貸倒引当金の増減額(△は減少)	38,397	△17,831
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△27,840	△68,618
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	23,543	△12,522
受取利息及び受取配当金	△72,539	△74,269
支払利息	40,155	34,949
持分法による投資損益(△は益)	△96,325	△86,774
匿名組合投資損益(△は益)	249,999	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△141	△1,530
投資有価証券評価損益(△は益)	81,386	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	35,908
売上債権の増減額(△は増加)	△183,598	△198,192
たな卸資産の増減額(△は増加)	622,303	△17,495
その他の流動資産の増減額(△は増加)	486,267	39,067
仕入債務の増減額(△は減少)	△153,079	227,815
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△754,877	△44,862
その他	△45,731	△84,550
小計	1,461,053	1,342,809
利息及び配当金の受取額	95,098	92,722
利息の支払額	△29,676	△24,313
法人税等の支払額	△56,292	△734,737
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,470,184	676,480
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△79,368	△94,445
有形固定資産の売却による収入	2,000	—
無形固定資産の取得による支出	△729	—
投資有価証券の取得による支出	△921	△926
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	96,435
長期貸付金の回収による収入	248,685	306,695
長期貸付けによる支出	△470,000	△480,000
子会社株式の取得による支出	△202,860	—
その他	△7,095	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△500,290	△172,240
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	70,000	△40,000
長期借入れによる収入	200,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△240,282	△321,599
自己株式の取得による支出	△244,172	△3,965
自己株式の売却による収入	751	96,865
配当金の支払額	△246,234	△264,642
財務活動によるキャッシュ・フロー	△459,937	△433,341
現金及び現金同等物に係る換算差額	△829	△715
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	509,127	70,183
現金及び現金同等物の期首残高	2,313,612	2,754,291
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,822,739	2,824,474

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	精糖 (千円)	機能性素材 (千円)	不動産 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	9,583,996	4,051,964	1,160,220	14,796,181	—	14,796,181
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	232	832	1,064	(1,064)	—
計	9,583,996	4,052,196	1,161,053	14,797,246	(1,064)	14,796,181
営業利益	1,107,075	180	426,137	1,533,392	(152,823)	1,380,569

(注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な製品または業務

(1) 精糖…………… 精製糖、液糖及び糖蜜

(2) 機能性素材…………… 食品添加物、切花活力剤、イヌリン等の機能性食品素材及びペクチン等の天然
添加物素材

(3) 不動産…………… 不動産賃貸等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用（154,023千円）は、親会社の管理部門及び研究開発室に係る費用であります。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

在外子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、各拠点に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「精糖事業」、「機能性素材事業」及び「不動産事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントを構成する主要製品及びサービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品及びサービス
精糖事業	精製糖、液糖、砂糖関連製品等
機能性素材事業	食品添加物、切花活力剤、機能性食品素材、天然添加物素材等
不動産事業	不動産賃貸等

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,081,725	4,182,132	474,504	14,738,362	—	14,738,362
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,714	1,160	832	12,707	△12,707	—
計	10,092,440	4,183,293	475,336	14,751,070	△12,707	14,738,362
セグメント利益	1,493,426	16,888	409,338	1,919,653	△518,270	1,401,383

(注) 1 セグメント利益の調整額518,270千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。